

12/4  
五旗

# 戦争法廃止 2000万署名に取り組む



高橋衆院議員（右から5人目）と福島参院議員に「戦争する国づくりに反対する署名」を提出する福島県内3つの生協代表＝3日、衆院第2議員会館

戦争法の廃止を求め、福島県内で共同行動に取り組んでいるコープふくしま、福島医療生活協同組合、きらり健康生活協同組合の代表らは3日、日本共産党の高橋ちづ子衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員と国会内で懇談し、力をあわせて戦争法廃止の2000万人署名に取り組んでいくことで一致しました。

3生協はこれまで、独自に「戦争する国づくりに反対する署名用紙をつくり、戦争法強行成立直前の9月1日から店舗などで呼びかけてきました。この日、代表らは1万2577人分の署名を手渡しました。

福島医療生協の安田政彦理事は「歴史的な2000万署名を連

## 福島の3生協が高橋議員らと懇談 国会内

携して広げたい」と表明。高橋氏は「ぜひ、がんばりましょう。私たちも、半分の1000万を目標に決めています。3生協が共同したように、野党も協力して何としても廃止したい」と応じました。

福島氏は「明文改憲や共謀罪などごんごんやろうとしている。今、戦争法反対の声をあげるのは大事です」と話しました。

コープふくしまの小澤和枝理事は「小さい子どもを持つ母親たちが署名してくれます。共同の意義は大きい」、きらり健康生協の橋本一弘常務理事は「今までにない反響だ」と紹介しました。

高橋氏は、「廃止するためには何かしたいと思ったとき、身近な生協で署名でき、思いを語るのには住民にとってもうれしいことです」と強調し、反対世論と運動を広げ続けることを訴えました。